

AEROTHAN[®]

TUBE

SCHWALBE

DISTINCTLY DIFFERENT



エアロザンチューブについて よくあるご質問

製品全般について

ーエアロザンとは？

エアロザンはSchwalbeがドイツ企業のBASFと共同開発した特殊な熱可塑性ポリウレタン(TPU)で、特許取得済みの溶接プロセスを使用してドイツで製造されるハイエンドチューブです。

ーエアロザンチューブの利点は？

エアロザンチューブは非常に軽量で、耐パンク性に優れています。転がり抵抗は低く、ダイナミックなライディングを提供。エアロザンはその形状を維持し、低い空気圧でもあらゆる車体で安定した乗り心地が得られます。またチューブの寸法が安定しているため、チューブが滑ったり挟まれたりすることが少なく、簡単に装着することができます。

ーチューブレスよりも優れている？

シュワルベは、チューブレスタイヤのエキスパートです。チューブレスよりチューブを好むサイクリストがいたり、チューブレスに適していないホイールも存在します。そのため、チューブに代わるハイエンドのエアロザンチューブを開発し、シュワルベの高い技術を持ってチューブレスと同じ高水準を保っています。

ーエアロザンチューブはリサイクル可能ですか？

他のシュワルベチューブと同じく100%リサイクル可能です。
従来のブチルチューブとは異なり、バルブを含め熱可塑性ポリウレタンでできているため、簡単にリサイクル可能です。
他のシュワルベチューブ同様に、リサイクルプログラムを介してシュワルベに返送されると、シーリング材や断熱材として再利用されます。

ー極端な温度にエアロザンは耐えますか？

エアロザンは温度安定性が高く、高温は+70℃まで、低温は-50℃まで品質に問題なく耐えることができます。

取付けについて

ーエアロザンチューブはどのように装着しますか？

他のチューブと同じように取り付けられます。特殊な素材によりチューブ寸法が安定しているため、ずれたり挟まれたりすることがなく、他のチューブよりも簡単な取り付けが可能です。

ただしタイヤに装着していない時に膨らませる場合は、0.3barまでにしてください。

ー装着中はなぜ注意深く膨らませないといけないのですか？

エアロザンチューブは従来(ブチル)チューブと比べるとゆっくり膨らむため、たっぷり時間をかけて膨らませてください。タイヤの外側で膨らませる場合は、チューブが膨らんで空気が均等に広がるまで、1回ポンピングするたびに一呼吸おいてください。

空気を入れすぎたり、素早く入れすぎるとバーストする可能性があるため、ご注意ください。

ー装着した後にチューブの色が変化するのはなぜですか？

エアロザンに使われている特殊な素材は、タイヤのコンパウンドと接触すると色が変わります。これは、加硫プロセスの結果、放出される揮発性物質が拡散するため起こる現象で、特に新品未使用のタイヤで起こります。

この色の変化については、チューブの性能や耐久性に影響はありませんのでご安心ください。

ーエアロザンチューブをタイヤの外側で膨らますことはできますか？

可能です。

折目がなくなり、形状が丸くなるまで注意深く膨らませることができますが、その際は慎重に膨らませ、最大0.3barを超えないようご注意ください。

ーエアロザンチューブは、CO2カートリッジを使用できますか？

チューブをタイヤに装着した状態に限り、可能です。

タイヤに未装着の状態では絶対にCO2カートリッジを使用しないでください。

ー外したエアロザンチューブを、別のタイヤに取り付けれますか？

可能です。

ただし、同じ幅またはそれ以上の幅のタイヤにのみ再取付けが可能です。

ーエアロザンチューブにシーラント剤は使用できますか？

熱可塑性ポリウレタンの表面張力が非常に高いため、エアロザンチューブでシーリング効果は発揮しません。

ーシーラント剤を使用したチューブレスタイヤに、エアロザンチューブを使用できますか？

可能です。

ただし、使用する場合はシーラント剤の残留物を可能な限り取り除いてください。

もし残っていると、摩擦やシーラント剤に含まれる成分によってエアロザンチューブに損傷を与える可能性があるため、タイヤは勿論、リム本体、リムテープをブレーキクリーナーまたはアルコール溶液で洗浄してください。

ーエアロザンチューブを装着するときにタルカムパウダー(タルク)を使用できますか？

タルカムパウダーはチューブに害は与えませんが、エアロザンチューブ製造工程で特殊な潤滑剤が使用されているため、タルカムパウダーを使用する必要はありません。

更に、チューブのTPU材料とタイヤのゴムカーカスの間の摩擦は非常に低くなっています。

ーリムブレーキでも使用できますか？

可能です。エアロザンチューブは熱に強く、緊急ブレーキ時の高い摩擦熱にも耐えることができます。

また、何らかの不具合が発生しても急激に空気が抜けることはありません。

ーカーボンリムに使用できますか？

カーボンリムにも適しています。
エアロザンに使われる材料の耐熱性は、ラテックスやブチルチューブよりも高いため、安心してご使用いただけます。

ーエアロザンチューブに適したリムテープは？

基本的にすべての一般的なリムテープと互換性がありますが、シュワルベの「**チューブレスリムテープ**」をお勧めします。
リム幅に合ったリムテープを必ずご使用ください。

メンテナンス・修理について

ーエアロザンチューブは修理できますか？

シュワルベの「**グルーレスパッチ**」を使用すると簡単にご修理いただけます。
ブチルチューブのように**ヤスリなどで粗面化する必要はありません**が、表面をできるだけきれいにしてからパッチをご使用ください。アルコールでの洗浄が推奨で、パッチと一緒に小袋に入ったアルコールワイブを持ち運ぶと便利です。



Glueless Patches グルーレスパッチ 7月発売予定

<内容物>
・グルーレスチューブパッチ(Φ20mm)×6枚

¥1,200+税

■注意■
エアロザンチューブにご使用の際は、付属のサンドペーパーは使用しないでください

ー大きな穴、切込み(最大4mm)の場合、どのように修理すればいいですか？

事前にアルコール洗浄の上うえ、損傷部分に重なるよう2枚のパッチをご使用ください。

ー従来のチューブパッチは修理に使用できますか？

従来のチューブパッチはご使用いただけません。
接着剤(加硫剤)はゴム素材専用のため、ポリウレタン素材のエアロザンには向いていません。

タイヤ空気圧について

ーエアロザンチューブの適正空気圧は？

エアロザンチューブは形状安定性が高く、従来のチューブよりもはるかに低い空気圧でご使用いただけます。
シュワルベタイヤに刻印されている最低空気圧は、ブチルチューブの仕様に適用されるのでご注意ください。エアロザンチューブを使用する場合は、より低い数値が適用される場合があります。
適した空気圧は、下記シュワルベのチューブレスシステムをご参照ください。
Schwalbe Pressure Prof - Schwalbe Professional Bike Tires

ーエアロザンチューブの最大空気圧は？

エアロザンチューブの最大空気圧は、側面またはリムに記載されている空気圧をご参照ください。リムに刻印されている最大圧力がタイヤの最大圧力よりも低い場合は、リムの最大圧力が適用されます。

ーどのぐらいの頻度でエアーを補充する必要がありますか？

エアロザンチューブは、ブチルチューブに匹敵する空気保持能力を持っているため、ラテックスチューブのように**頻繁に空気を入れる必要はありません**。ただし定期的な空気圧チェックをおすすめします。

ー航空機で持ち込む場合、気を付けることはありますか？

そのままの空気圧でも問題ありませんが、1~2bar下げておくことを推奨します。



AEROTHAN[®]

ASSEMBLY INSTRUCTIONS

エアロザンチューブ装着方法

事前にご確認ください

- ・事前にタイヤの適正サイズご確認ください。
- ・リムのバルブホールサイズをご確認ください。最大Φ6.5mm (SV) まで対応可能です。
- ・シーラント剤に触れないよう、シーラントを使用したことのあるタイヤに装着する際は、事前にアルコールで拭き取ってください。
- ・リム幅にあったリムテープをご用意ください。

⚠ 注意事項

- ・タイヤ装着前は、最大0.3barまでで膨らませてください。勢いよく空気を入れると、チューブにダメージを与えます。
- ・チューブにしわが寄らないようご注意ください。
- ・最初に空気を入れる時には、バルブをひねらないでください。

